**友達 家族 地域を守るために　新しい地域活動の方法を考えましょう**

市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、地域において安心・安全にイベントなどを開催するための留意事項をまとめました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、例年開催されているイベントの中止・延期が相次ぎ、今までにない夏を迎えました。

　イベントなどの地域活動は、これまでの開催方法では安心して実施することが難しく、「新しい生活様式」を基に、感染防止対策を徹底する開催方法を考えていく必要があります。

　イベントなどの開催を検討する際は、「新しい生活様式の遵守」、「３密の徹底的な回避」、「参加者の確認・把握」を基本とします。さらに、イベントごとの感染防止対策や、参加者の人数設定、業種別のガイドライン「感染拡大予防ガイドライン」（https://corona.

go.jp/）を参考にしながら検討してください。

　運営スタッフと参加者がともに安心して参加できるよう、感染防止対策を徹底し、地

域活動を再開していきましょう。

**イベントなど地域活動開催の基本**

**新しい生活様式の遵守**

□マスクを着用する。

□身体的距離を確保する。（ 2 メートル間隔）

□手洗い、手指消毒を行う。

**３密の徹底的な回避**

□密閉しない。

□密集しない。

□密接しない。

**参加者の確認・把握**

□体調の確認。

□参加者の把握。

□厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用。

**参加者へのお願い**

　イベントなど参加当日に、次の3つのうちどれかにあてはまるときは、参加を自粛してください。

□37.5度以上の発熱がある場合（または平熱比+1度を超過）

□息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ、咳・咽頭痛などの症状がある場合

□新型コロナウイルス感染症の検査で、陽性とされた人との濃厚接触がある場合など

**新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールしましょう**

　このアプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。詳しくは、厚生労働省ウェブサイトを確認してください。

**9月1日からの地域活動および施設利用について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 参加人数の目安 | 行事開催の目安 |
| 屋内 | 収容人数の50％以内 | 特定の地域からの来場を見込み  人数を管理できること |
| 屋外 | 十分な間隔（2メートル）を確保できること |

※8月19日時点での情報です。感染拡大状況により、時期や人数上限が変更になる場合もあります。

**感染防止対策を徹底し安全に実施しましょう**

**会議・研修会**

□施設利用時の参加人数の検討、委任などの手段も活用し、最小限の人数で開催を検討する。

□近距離での対面は避け、出席者の間隔を四方2メートルを目安に席を設ける。

□事前の出席確認や事前申し込みにする。

**飲食を伴うイベント**

□食器を置くテーブルや直接口に触れるものは、よく洗浄し、消毒すること。

□食事の提供は、大皿などは避け、個別に提供するなど工夫する。

□飲食物を提供する際は、提供者はマスクを着用、手洗い・消毒を行い、なるべく使い

捨ての容器を使用する。

□ごみ箱は、なるべく蓋付きで密閉できるものを利用する。

□席に座る際は、対面を避ける。

**運動を伴うイベント**

□運動を行っていないときは、マスクを着用する。

□走る・歩くイベントでは、できるだけ一列に並ばない。

□屋内の場合は、更衣室、ロッカーなどの共有スペースの消毒作業や換気を徹底する。（換気できないときは、一時的に人数制限し、密集しないようにする。）

□人と近距離での活動や接触する行為はできるだけ避ける。

□活動中に大きな声で会話、応援などは控える。

□スポーツ用具の共用をできるだけ避けるため、持参してもらい、こまめに消毒する。

**お祭り**

□屋台などの調理員は、必ずマスク、手袋を着用する。

□行列などで人が密集しないよう、人と人との待機位置を指定したり、整理券を配布配布するなど工夫する。

□テーブルや椅子、マイクなどを使用した際は、使用者が替わるごとに消毒を行う。

□ごみ箱は、なるべく蓋付きで密閉できるものを利用する。

□密集を避けるため、入退場に時間差を設けるなど、人の動線を工夫したり、部分的な閉鎖も含め検討する。